

# — 騎手になるためには —

競馬学校・騎手課程をよく知ろう！



ジョッキーのススメ。



日本中央競馬会  
競馬学校

〒270-1431 千葉県白井市根 835-1



# ジョッキーって プロアスリートだ。

スポーツを職業にしたい、スポーツで生きていきたい人に伝える、  
ジョッキーという進路がある。日本中の夢を背に、愛馬とひとつになって競馬場を駆け抜ける。  
きっとそこには、どんなスポーツにもない喜びがある。  
さあキミも、競馬学校からプロアスリートという未来へ走りだそう。

**BE KEIBA ATHLETE!**

ズナ

# 365日 プロアスリートであること。

長いジョッキー人生の中には、うまくいかない時期や、ケガで苦しむ時期も。  
誰もが最初から華々しいスタートダッシュを切れるわけではない。それでも自分を信じて努力を続けること。  
いつかそれが実を結ぶ時が来ると信じて頑張る。競馬は、自分の努力が報われるプロスポーツです。

## ジョッキーのスケジュール

### TRAINING DAY



5:00 厩舎において調教内容の指示を  
うける。



6:10 ウォーミングアップ開始。



6:30 コースに出て本格的な調教スタート。



10:10 調教スタンドで騎乗予定馬の打ち  
合わせや取材対応。



15:20 厩舎を巡り情報収集。



17:00 厩舎での作業後、各自の課題に  
沿った自主トレーニング。

### RACING DAY



2:45 調整ルームを出発。



9:00 検量室でレース前に負担重量を  
確認する前検量。



9:50 ファンに馬の調子を見てもらう  
ため、パドックを周回。



10:10 第一レース開始。全馬がゲートイ  
ンしたら、いよいよ発走。



10:15 レース後に、検量室で負担重量を  
確認する後検量。



10:18 レースが確定し、優勝すると、ウイ  
ナースサークルで表彰式。終了後  
は次の騎乗レースの準備へ。

活躍は、自分次第。

ジョッキーに大切なのは、  
柔軟性と気持ちの強さ。  
もちろん自分次第、自己責任ですが、  
大きなチャンスのある  
魅力的な世界です。

## 浜中 俊

HAMANAKA SUGURU



# その3年は、未来を強くする。

プロアスリートになる夢に、遅すぎるなんてことはない。挑戦を後押しするために、競馬学校はある。プロとして生き抜くための心技体。すべてを体得し、その先の栄光へ。

## 競馬学校の3年間

### STEP 1

#### 基礎課程

< 約1年半 >

基礎体力を強化し  
馬術の基礎を習得

乗馬の他にフィジカルトレーニングなどの一般カリキュラムや、競馬に関する知識を体得する座学形式の専門カリキュラムを受講。



### STEP 2

#### 実践課程

< 約1年半 >

レース騎乗へ向けた  
本格的な訓練

前期は栗東または美浦トレーニングセンターで1年間、現役競走馬の調教に騎乗。後期は競馬学校に戻り、模擬レースなどでジョッキーになるための総仕上げ。



### STEP 3

#### 騎手免許 試験合格

ジョッキーとして  
デビューへ!

筆記・口頭による学力試験や騎乗技術試験などを行い、合格すると晴れてジョッキーに。



## 川須 栄彦

KAWASU HARUHIKO

### 乗馬は、未経験でした。

はじめて馬に乗ったのは、競馬学校の二次試験の前。競馬学校に入学してからは初めてのことはばかりできつい面もありましたが、競馬学校の最初の実技審査で3位になることができたんです。その審査で褒められたことが自信になって、馬に乗ることもどんどん楽しくなりました。教官たちには今でも本当に感謝しています。

川須 栄彦 / 1991年生まれ。中学までは野球に熱中、乗馬経験はなかったが競馬学校に入学し、第26期生として卒業後、2010年にデビュー。2年目に全国リーディング6位となる91勝をあげて注目される。3年目の2012年にはエーシンジーラインに騎乗し、小倉大賞典、ダイワファルコンに騎乗し、福島記念など重賞勝ちも達成。以降も関西リーディング上位を争う存在として活躍中。

## 松岡 正海

MATSUOKA MASAMI

### 情熱があれば、なんでもできる。

入学してからは、乗馬を長くやっていた子たちとの差は感じました。でもトレセン実習に行って調教に乗せてもらった時、これなら負けたい、自分の方が上手いと思えたんです。乗馬の技術では負けていても、追い切りではこっちが上だ、と。乗馬と競馬が重なるところがあることはもちろんわかっていますが、でも分野が違うという感覚は今でも強くあります。

松岡 正海 / 1984年生まれ。競馬学校を第19期生として卒業後、2003年にデビュー。若手のホープとして早くから活躍し、4年目の2006年、マイケル・キネーン騎手(アイルランドの名手で日本でもワールドスーパージョッキーズシリーズなどで騎乗、2009年引退)の紹介により、アイルランドのジョン・オックス厩舎のもとへ約3か月間の武者修行に。2007年にはヴィクトリアマイルをコウウタで、2009年には天皇賞(春)をマイネルキッツで優勝。2010年に全国リーディング5位となる109勝を挙げるなど、存在感を増している。

# 日々の鍛錬が、 アスリートへの道を拓く。

24時間、寝ても覚めてもジョッキーになるための環境がそこにはある。日々の実技訓練や  
フィジカルトレーニング、厩舎作業。その飽くなき積み重ねがジョッキーとしての未来につながる。

## 競馬学校での1日

1



起床後、検量して厩舎へ。

2



厩舎作業や飼付け。

3



朝食。栄養バランスを考えたメニューが並ぶ。

4



教官から指導を受け、乗馬の実技訓練。

5



走路での実技訓練も行う。

6



全員が集まって昼食。

7



フィジカルトレーニングでジョッキーに必要な身体能力を養う。

8



馬学や競馬法規などのカリキュラムも大切。

9



担当馬の手入れや夕方の飼付け作業。

10



夕食後、自由時間を使い、学科の自習や木馬での自主トレーニング。



## 藤田 菜七子

FUJITA NANAKO

### 女性にも、チャンスはある。

競馬学校に入学した頃は他の同期に付いていくのが大変でしたが、3年後には騎乗面などで互角に競い合っているようになりました。競馬学校で覚えたことは、すべて今に役立っています。日本の競馬界は女性が少ないですが、海外には女性のジョッキーがたくさんいます。私が頑張ることで、ジョッキーをめざす女の子を勇気づけられればいいです。

藤田 菜七子 / 1997年生まれ。競馬学校を第32期生として卒業し、JRAでは16年ぶり、通算7人目の女性ジョッキーとして2016年デビュー。目標とするジョッキーは同じ女性で、ニュージーランドのリーディングジョッキーに輝いたこともあるリサ・オールプレス。

# 世界を、その手で極めろ。

世界に数あるレースの中でも、とりわけ日本のホースマンが憧れを抱くレースがある。それはフランスの凱旋門賞。1920年に始まり、長い歴史を誇るこのレースで、日本馬はあと一歩で栄冠を逃し続けている。日本馬の、そして日本のホースマンの悲願となっている凱旋門賞。いま誰も手にしていない栄誉を史上はじめてつかむのは、もしかしたらあなたかもしれません！

## 日本馬が挑戦した近年の主な海外レースの出走成績



凱旋門賞

国際 G1 フランス 凱旋門賞  
オルフェーヴル 2着(2012)、2着(2013)

国際 G1 香港 クイーンエリザベス2世カップ  
ルーラーシップ 1着(2012)

国際 G1 香港 香港スプリント  
ロードカナロア 1着(2012・2013)

国際 G1 香港 香港マイル  
モーリス 1着(2015)

国際 G1 香港 香港カップ  
エイシンヒカリ 1着(2015)

香港スプリント



ドバイワールドカップ



国際 G1 UAEドバイワールドカップ  
ヴィクトワールピサ 1着(2011)

国際 G1 UAEドバイシーマクラシック  
ジェンティルドンナ 2着(2013)、1着(2014)

国際 G1 UAEドバイターフ  
ジャスタウェイ 1着(2014)、リアルスティール 1着(2016)



世界中で、闘える。

どの国でも、どんな舞台でも、  
しっかりと技術を身につければ  
どこでもやっつけていけるのがジョッキー。  
ぜひ、レースでいっしょに  
熱い競り合いをしましょう！

# 福永祐一

FUKUNAGA YUICHI

福永 祐一 / 1976年生まれ。父は元ジョッキーの福永洋一。競馬学校を第12期生として卒業後、1996年にデビュー。プリモディーネでの桜花賞(1999年)をはじめエビファネアでの菊花賞(2013年)など、数々の名馬でG1を制覇。また、エイシンプレストンの香港マイル(2001年)やジャスタウェイのドバイデューティフリー(2014年)など、海外での大レース勝ちも多数。2011年、2013年には全国リーディングを獲得。



いつか凱旋門賞を。

凱旋門賞は、自分で勝てればもちろんそれが一番ですが、誰でもいいから勝ってほしい。ジョッキーも含めてすべて日本人スタッフで勝ってくるとすごくうれしいですね。

蛸名 正義 / 1969年生まれ。競馬学校を第3期生として卒業、同期には武豊がいる。1995年、フジヤマケンザンに騎乗し、G2香港国際カップで36年ぶりの日本馬による海外重賞制覇を達成。1999年、フランスに長期滞在していたエルコンドルパサーに騎乗し、G1サンクルー大賞を勝ち、G1凱旋門賞で2着。2000年夏から秋にかけては、自身がアメリカ東海岸への長期遠征を行った。その後も凱旋門賞にはマンハッタンカフェ(2002年13着)とナカヤマフェスタ(2010年2着、2011年11着)で騎乗。通算4度騎乗している。



MESSAGE FROM

武豊

TAKE YUTAKA

## 未来の KEIBA アスリート たちへ。

世界が天才と認めるジョッキー武豊。  
そんな日本の至宝には、プロアスリートを夢見る  
未来のジョッキーたちに伝えておきたいことがある。  
これは、武豊からキミへ向けたメッセージ。

武豊 / 1969年生まれ、父は元ジョッキーの武邦彦。競馬学校第3期生。1987年にデビュー後はまたたく間にトップジョッキーとなり、さまざまな記録を塗り替えてきた。海外でも早くから活躍し、1991年にはセネカHで海外重賞初勝利を達成。1994年ムーランドロンシャン賞ではスキーパラダイスで日本人騎手による史上初の海外G1制覇。1998年モーリスドゲスト賞ではシーキングザパールで日本調教馬による史上初の海外G1勝利を成し遂げた。2004年には日本人として前人未到の海外通算100勝を達成している。

ジョッキーは、長く続けられる職業。

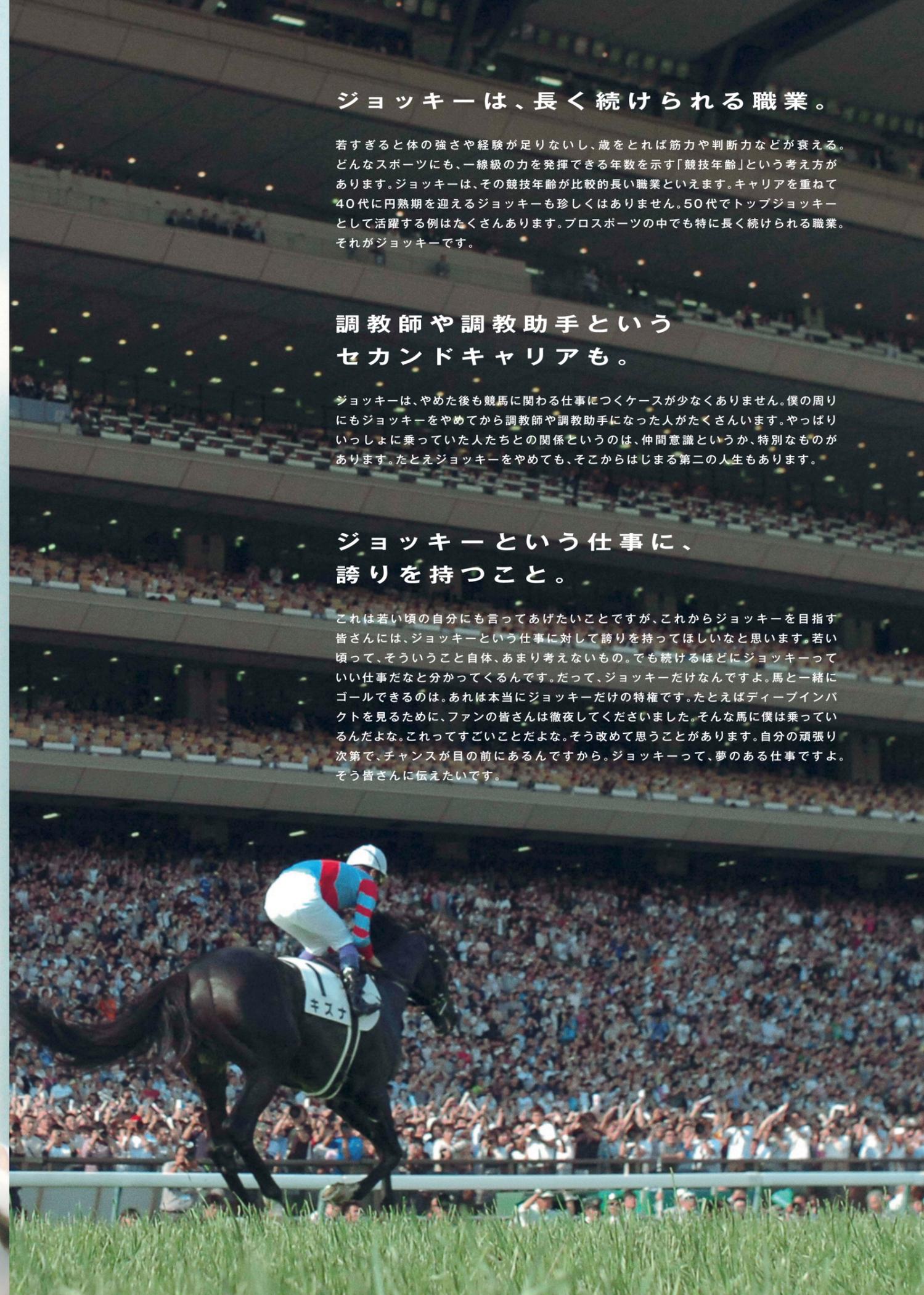
若すぎると体の強さや経験が足りないし、歳をとれば筋力や判断力などが衰える。どんなスポーツにも、一線級の力を発揮できる年数を示す「競技年齢」という考え方があります。ジョッキーは、その競技年齢が比較的長い職業といえます。キャリアを重ねて40代に円熟期を迎えるジョッキーも珍しくはありません。50代でトップジョッキーとして活躍する例はたくさんあります。プロスポーツの中でも特に長く続けられる職業。それがジョッキーです。

調教師や調教助手という  
セカンドキャリアも。

ジョッキーは、やめた後も競馬に関わる仕事につくケースが少なくありません。僕の周りにもジョッキーをやめてから調教師や調教助手になった人がたくさんいます。やっぱりいっしょに乗っていた人たちとの関係というのは、仲間意識というか、特別なものがあります。たとえジョッキーをやめても、そこからはじまる第二の人生もあります。

ジョッキーという仕事に、  
誇りを持つこと。

これは若い頃の自分にも言ってあげたいことですが、これからジョッキーを目指す皆さんには、ジョッキーという仕事に対して誇りを持ってほしいと思います。若い頃って、そういうこと自体、あまり考えないもの。でも続けるほどにジョッキーっていい仕事だなと分かってくるんです。だって、ジョッキーだけなんですよ。馬と一緒にゴールできるのは、あれは本当にジョッキーだけの特権です。たとえばディーブインパクトを見るために、ファンの皆さんは徹夜してくださいました。そんな馬に僕は乗っているんだよな。これってすごいことだよな。そう改めて思うことがあります。自分の頑張り次第で、チャンスが目の前にあるんですから。ジョッキーって、夢のある仕事ですよ。そう皆さんに伝えたいです。



## 【 騎手課程生徒募集概要 】

- 募集人員** 10名程度(『スポーツ特別入試制度』利用者含む)
- 応募資格**
1. 年齢 競馬学校入学時に中学校卒業以上の 学歴を有する者、又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者で、入学年4月1日時点の年齢が15歳以上20歳未満の者。
  2. 体重 下表の年齢区分毎に定められた体重以下の者。  
ただし年齢については受験年9月30日現在の年齢を基準とする。

年齢区分	体重
17歳6ヶ月以上の者	48.0kg以下
16歳6ヶ月以上17歳6ヶ月未満の者	47.0kg以下
15歳6ヶ月以上16歳6ヶ月未満の者	46.0kg以下
15歳6ヶ月未満の者	45.0kg以下

注) 騎手課程在籍期間中は年齢区分毎に上限体重が指定され、いかなる理由であっても、この体重を超過することは認められておりません。なお、卒業時の上限体重(指定体重)は、全騎手課程生一律48.0kgとなっております。

3. 視力 裸眼で左右ともに0.8以上の者。
4. その他 色別力、聴力、健康状態など。

## 【 応募から騎手デビューまでの流れ(一般例) 】



応募に関する詳細は競馬学校ホームページでご確認ください。

入学願書提出時(健康診断受診時)に応募資格を満たしていない場合、入学試験を受験することはできません。  
あらかじめご承知おきください。応募条件は変更になる場合がございます。

## 『K★members'』会員募集中!

～未来のスタージョッキーを目指す君たちへ～



『K★members'』は、小学4年生以上中学2年生以下で将来騎手を目指している方を対象とした組織です。

中学2年生以下ならどなたでも登録できる!

※小学4年生以上中学2年生以下であれば、年齢・性別は不問です。

K★members' 限定のイベントに参加できる!

騎手課程受験に向けた情報を定期的にメールで配信!

登録・参加費は無料!

### 【 実施イベント(例) 】

- ・競馬学校1泊体験
- ・騎手の仕事場見学
- ・騎手になるためのトレーニングセミナー 他

※参加費は原則無料です。(応募者多数の場合は抽選になります)  
※実施イベントは変更となる場合がございます。

### 【 登録方法 】

K★members' サイト内の  
登録サイトからご登録ください。

URL: [http://jra.jp/school/k\\_members/](http://jra.jp/school/k_members/)



※ご登録時に提供いただいた個人情報は、競馬学校で厳重に管理し、第三者(本校以外のJRA施設含む)に開示することはありません。

### 【 アクセス 】

JRA 競馬学校  
〒270-1431  
千葉県白井市根 835-1



### 【 交通機関のご案内 】

西白井駅からの行き方:  
北総鉄道「西白井駅」下車→タクシー(約10分)

白井駅からの行き方:  
北総鉄道「白井駅」下車→  
ちばレインボーバス西船橋駅行(約7分)「富笠道・競馬学校」下車

新鎌ヶ谷駅からの行き方:  
北総鉄道・新京成電鉄・東武野田線「新鎌ヶ谷駅」下車→タクシー(約15分)

鎌ヶ谷大仏駅からの行き方:  
新京成電鉄「鎌ヶ谷大仏駅」下車→ちばレインボーバス(白井駅行  
または白井車庫行)(約15分)「富笠道・競馬学校」下車

騎手や競馬、応募について  
詳しく知りたい方は  
競馬学校教育課まで

競馬学校  
ホームページ <http://jra.jp/school/>  
電話(代表) 047-491-0333(火～金9時～17時)